浄水発生土有効利用事業　計画書

様式6

令和　　年　　月　　日

兵庫県公営企業管理者　様

浄水発生土有効利用事業に係る計画について、関係資料を添え提出します。

（代表企業）　　事業者名

所在地

代表者名

(印)

（共同企業1）　事業者名

所在地

代表者名

(印)

（共同企業2）　事業者名

所在地

代表者名

(印)

※共同企業の記入欄が不足する場合は、追加してください。

【連絡先】

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先 | 電話：  FAX：  E-mail： |

１　有効利用事業者の概要

BD21328_

(1)　事業者名称等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 事　業　者　名　称　等 | |
| 代表企業 | 事業者名  所 在 地  代表者名  本事業における役割 |  |
| 共同企業 | 事業者名  所 在 地  代表者名  本事業における役割 |  |
| 事業者名  所 在 地  代表者名  本事業における役割 |  |

※共同企業の記入欄が不足する場合は、追加してください。

(2)　浄水発生土緑化材の名称

|  |  |
| --- | --- |
| 浄水発生土緑化材の名称 |  |

(3)　製造施設の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 製造会社の名称 |  |
| 製造施設の所在地 |  |
| 設立年月日 |  |
| 浄水発生土  ストックヤード | 面積：　　　　　　m2　（保管可能量：　　　　　　m3） |
| 浄水発生土緑化材(製品)の製造能力 | 日あたり製造量: 　 　m3/日（浄水発生土使用量: 　　m3/日） |
| 月あたり製造量:　　 　m3/月（浄水発生土使用量:　　　m3/月） |

(4) 浄水発生土有効利用量（年間）

|  |  |
| --- | --- |
| 浄水発生土  有効利用量 | m3/年 |

２ 浄水発生土緑化材の品質

BD21328_

(1)　プランター試験の結果

ア　発芽調査

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 調査月日 | | 1週目  月　日 | 2週目  月　日 | 3週目  月　日 | 5週目  月　日 | 8週目  月　日 |
| 発芽率 | プランターNo.1 | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |
| プランターNo.2 | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |
| プランターNo.3 | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |
| 平　均 | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |

イ　異常症状

|  |  |
| --- | --- |
| 所　見 |  |

ウ　生育状態

|  |  |
| --- | --- |
| 発芽後5～7日（　　月　　日撮影） | 試験終了時（　　月　　日撮影） |
|  |  |

(2) 成分分析の結果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分析項目 | 結　　果 | 備　　考 |
| pH（H2O） |  |  |
| 電気伝導率(EC) |  |  |
| 炭素率(C/N比) |  |  |

(3)　現地吹付試験の結果

ア　吹付施工

|  |  |
| --- | --- |
| 一般的な吹付機械での施工の可否 | 可　・　否　（特殊機械名：　　　　　　　　　） |
| 吹付時の作業障害の有無 | 有　・　無　（所見：　　　　　　　　　　　　） |
| 浄水発生土2m3の吹付施工時間 |  |
| 日あたり施工量（t＝5cm） | m2/日程度 （吐出量： m3/h程度） |

イ　確認調査

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 確認調査時（施工3ヶ月後以降）の植生の状態 | 判定 |
| 木本群落型 | 植被率が30～50％であり、木本類が10本/m2以上確認できる。 |  |
| 植被率が50～70％であり、木本類が5本/m2以上確認できる。 |  |
| 草種に70～80％覆われており、木本類が1本/m2以上確認できる。 |  |
| 所々に発芽が見られるが、法面全体が裸地状態に見える。 |  |
| 生育基盤が流亡して、植物の成立の見込みがない。 |  |
| 木本類の発芽が確認出来ない。 |  |
| 草本植物の植被率が90％で、木本植物が被圧されている。 |  |
| 草 地 型 | 法面から10m離れると法面全体が「緑」に見え、植被率が70～80％以上である。 |  |
| 10本/m2程度の発芽はあるが生育が遅い。また、植被率が50～70％である。 |  |
| 植被率が50％以下である。 |  |
| 生育基盤が流亡して、植物の成立の見込みがない。 |  |

ウ　試験施工状況写真

|  |  |
| --- | --- |
| 施工前（　　月　　日撮影） | 施工中（　　月　　日撮影） |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 吹付直後（　　月　　日撮影） | 施工3ヶ月後（　　月　　日撮影） |
|  |  |

|  |
| --- |
| 【計画書（様式6）の作成に係る留意事項】  浄水発生土有効利用事業計画書（様式6）の作成にあたっては、以下の事項を確認のうえ、記載誤りや添付漏れ等のないよう、留意してください。  １　有効利用事業者の概要  (1)　事業者名称等  ア　共同企業の記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。  イ　各事業者の会社概要、事業内容等がわかるパンフレット等を添付ください。  (2)　浄水発生土緑化材の名称  ア　審査を受ける浄水発生土緑化材の名称を記載してください。  (3)　製造施設の概要  ア　浄水発生土緑化材（製品）の製造能力は、製造施設における浄水発生土緑化材の日（及び月）あたりの最大製造量と、その際の浄水発生土使用量を記入してください。  イ　製造施設の「施設・設備等の配置図（概略図、A4版、縮尺等任意）」及び「施設の全容、浄水発生土のストックヤード等がわかる現況写真（2～3枚程度）」を添付してください。  (4)　浄水発生土有効利用量（年間）  ア　有効利用事業者となった場合の浄水発生土の「年間有効利用量（年間購入希望数量）」を記入してください。  イ　浄水発生土緑化材の余剰（売れ残り）防止や浄水発生土の適正処分（山積みや不法投棄の防止）等の観点から、近隣での植生基材吹付の需要量や製造施設のストックヤード、製造能力等を精査のうえ記入してください。  ２　浄水発生土緑化材の品質  (1)　プランター試験の結果  ア　発芽調査：各時点の調査データ、写真等を保管しておいてください。（必要に応じ提出を求めることがあります。）  イ　異常症状：異常症状が認められた場合は、その症状及び原因等について記載してください。  ウ　生育状態：それぞれの時点のカラー写真を貼付してください。  (2)　成分分析の結果  ア　成分分析の3項目（pH、EC、C/N比）については、「堆肥等有機物分析法（2010年度版）財団法人日本土壌協会」等に基づき実施してください。  イ　環境計量士等による「計量証明書」を添付してください。  (3)　試験施工の結果  ア　吹付施工  (ア)　「一般的な吹付機械での施工の可否」について、該当するものに○印を記入してください。「否」に該当する場合は、（　）内に特殊機械の名称等を記入してください。  特殊機械の汎用性が低く、吹付施工業者が特定されること等が懸念される場合は、品質試験等が良好な場合であっても、有効利用事業者にはなれません。  (イ)　「吹付時の作業障害の有無」について、該当するものに○印を記入ください。事務局立ち会いのもと実施した吹付施工の際に、事務局が作業障害等を認めた場合は「有」に該当するものとし、その障害の内容を（　）内に記入ください。  (ウ)　「日あたり施工量（t=5cm）」については、事務局立ち会いのもと計測、確認した単位施工量を「日」あたりに換算した施工量及び「時間」あたり吐出量を記入してください。  イ　確認調査  (ア)　吹付施工後3ヶ月以上経過した時点で、事務局立ち会いのもと実施した確認調査の際に、事務局が判定した「植生の状態」の該当欄に○印を記入してください。  (イ)　確認調査の際に、「植生の状態」の判断に用いたデータ（写真を含む）を保管しておいてください。（必要に応じ提出を求めることがあります。）  ウ　試験施工状況写真  (ア)　写真貼付欄を設けた各時点について、試験施工を行った区画の全容が把握できる写真を貼付してください。  (イ)　その他、吹付施工の状況等が確認出来る写真を撮影し保管しておいてください。（必要に応じ提出を求めることがあります。） |